

「誰一人取り残さない」ための世界の目標

～国連の「持続可能な開発目標：SDGs」について～

今年、世界人権宣言が採択されて、70年という大きな節目の年です。

第2次世界大戦で戦争で傷付いた人々の思いや平和への願いを込め、世界人権宣言は起草されましたが、世界では、戦争や内戦、紛争が後を絶ちません。

また、アフリカやアジアの国々では飢餓や伝染病が蔓延し、貧富の格差も拡大、世界中で人権が守られてきたのかと思えるような状況があります。

国連では、極度の貧困と飢餓の半減、初等教育の完全普及、乳幼児死亡率の削減、妊産婦の健康の改善など8つの分野で目標を掲げて、ミレニアム開発目標を「MDGs」として、これらの途上国の問題を中心に解決を図り、一定の成功を収めてきました。

しかし、サハラ砂漠以南のアフリカ諸国の乳幼児死亡率や妊産婦死亡率は、思うように減らず、気候変動によるハリケーンは、小さな島国を直撃し、格差の問題は、国と国、都市部と農村部などさまざまな形で残っています。

この格差は、貧困だけでなく、不平等を生み、社会を不安定化させ、暴力的過激主義とも結びつき、治安の問題にもつながっています。こうしたことを途上国だけでなく、先進国も含めて「誰一人取り残さない」という決意でまとめられたのが、『SDGs』です。

平成27年9月に国連は、「持続可能な開発目標：SDGs」として、17の目標と169の達成基準を示しています。17の目標の主な内容は、次のとおりです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
13 気象変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

※この啓発ピラへのご意見、ご感想は
☎0745-82-2147または jinken@city.uda.lg.jpへ

うだしじんけんけいはつかつどうすいしんほんぶ
宇陀市人権啓発活動推進本部